

令和２年度 指定管理者年度評価シート

１ 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 定員充足率9割以上 ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

２ 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町１２０８番地２
指定期間	平成２８年４月１日～令和３年３月３１日（５年）
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

３ 管理運営の成果・実績

(１) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R2年度実績	達成率※
施設利用者数	定員充足率90%以上	定員充足率61.9%	68.8%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%以上	満足度86.2%	95.8%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(２) その他利用状況を示す指標

指 標	R2年度実績
施設利用者数	9,333

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R2年度	R1年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	273,771	267,760	実績－計画	△ 18,381	人件費不用額市返納
	計画	292,152	287,793	計画－提案	△ 14,105	市による査定
	提案	306,257	301,415			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	7,395	7,938	実績－計画	7,395	区分間資金異動
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	281,166	275,698	実績－計画	△ 10,986	
	計画	292,152	287,793	計画－提案	△ 14,105	
	提案	306,257	301,415			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R2年度	R1年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	198,429	197,839	実績－計画	△ 15,081	人事異動、育児休暇1名
	計画	213,510	211,205	計画－提案	△ 16,047	市による査定
	提案	229,557	226,471			
事務費	実績	13,013	11,307	実績－計画	△ 146	出張等の縮小
	計画	13,159	12,139	計画－提案	371	修繕費の増加
	提案	12,788	12,459			
事業費	実績	14,923	14,758	実績－計画	△ 1,422	行事等の縮小
	計画	16,345	16,153	計画－提案	△ 3,382	市による査定
	提案	19,727	19,524			
委託費	実績	42,967	42,157	実績－計画	△ 648	契約差金
	計画	43,615	42,786	計画－提案	6,517	自動車運行管理業務委託費の増加
	提案	37,098	37,098			
その他	実績	5,332	4,259	実績－計画	△ 183	契約差金
	計画	5,515	4,416	計画－提案	△ 628	人事異動による退職給付積立変動
	提案	6,143	4,919			
本社費・共通費	実績	6,989	6,899	実績－計画	6,981	区分間資金異動
	計画	8	1,094	計画－提案	△ 936	事務局経費の減少
	提案	944	944			
合計	実績	281,652	277,219	実績－計画	△ 10,500	
	計画	292,152	287,793	計画－提案	△ 14,105	
	提案	306,257	301,415			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R2年度	R1年度
必須業務	収入合計	281,166	275,698
	支出合計	281,652	277,219
	収 支	△ 486	△ 1,521
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収 支	0	0
総収入		281,166	275,698
総支出		281,652	277,219
収 支		△ 486	△ 1,521
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
定員充足率9割以上	D	68.8% (R1年度80.2%)
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	95.8% (R1年度94.1%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費削減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	10.6%の削減

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：選定時の提案額から10%以上の削減
B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	・千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・毎月避難訓練を行った
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実			
	管理運営の執行体制	C	C	・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務			
	施設の保守管理	C	C	・日常点検・定期点検を適正に実施した。
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保			
	開館時間・休館日	C	C	・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実			
	利用者への支援	C	C	・各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。 ・意見箱を常置した。
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施			
	施設の事業の効果的な実施	C	C	・継続して園児兄弟・姉妹預かり事業を実施した。
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	・積極的に市内業者を利用した。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
管理運営については、概ね適切に管理が行われているが、適切な成果指標や数値目標を設定し、評価指標の検討をしていただきたい。	H30年度	令和3年度より、数値目標を、「定員充足率9割以上」から、「施設利用者数の増加（前年度比）」による評価をする。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）
	回答者数	延べ216名
	質問項目	・職員の配置数や専門性について ・療育内容について ・親子通園について ・個別支援計画について ・家族支援について等
結果	ア ひまわりルーム(福祉型児童発達支援センター) 前期配布数35、回答数34 回答率97.1% (1) 職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う21人(62%)そう思う5人(15%)どちらともいえない5人(15%) あまりそう思わない3人(8%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (2) 療育プログラムは合っていたか:とてもそう思う20人(59%)そう思う14人(41%)どちらともいえない0人(0%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (3) 親子通園の内容は適切でしたか:とてもそう思う20人(59%)そう思う11人(32%)どちらともいえない1人(3%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない2人(6%) (4) 個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う17人(50%)そう思う16人(47%)どちらともいえない1人(3%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (5) 保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う17人(50%)そう思う12人(35%)どちらともいえない3人(9%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない1人(3%)わからない1人(3%) 後期:配布数36、回答数34 回答率94.4% (1) 職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う22人(65%)そう思う6人(18%)どちらともいえない4人(11%) あまりそう思わない2人(6%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (2) 療育プログラムは合っていたか:とてもそう思う25人(74%)そう思う9人(26%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%) そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (3) 親子通園の内容は適切でしたか:とてもそう思う24人(71%)そう思う10人(29%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%) そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (4) 個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う25人(74%)そう思う9人(26%)どちらともいえない0人(0%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (5) 保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う23人(68%)そう思う9人(26%)どちらともいえない2人(6%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)	
	イ たけのこルーム(医療型児童発達支援センター) 前期配布数13、回答数11 回答率84.6% (1) 職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う1人(9%)そう思う5人(46%)どちらともいえない4人(36%) あまりそう思わない1人(9%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%) (2) 療育内容について 1) 午前保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う1人(9%)そう思う7人(64%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%) そう思わない0人(0%)わからない1人(9%)該当しない2人(18%) 2) 午後保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う0人(0%)そう思う4人(36%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%) そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)該当しない7人(64%) 3) 分離保育は安心して預けることができたか:とてもそう思う3人(27%)そう思う3人(27%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%) そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)該当しない5人(46%) (3) 個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う1人(9%)そう思う7人(64%)どちらともいえない2人(18%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない1人(6%)わからない1人(9%) (4) 保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う1人(9%)そう思う4人(37%)どちらともいえない3人(27%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない3人(27%) 後期配布数14、回答数12 回答率85.7% (1) 職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う4人(33%)そう思う5人(42%)どちらともいえない2人(17%) あまりそう思わない0人(0%)そう思わない1人(8%)わからない0人(0%)	

(2)療育内容について	
1) 午前保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う6人(50%)そう思う6人(50%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)該当しない0人(0%)	
2) 午後保育は利用児が楽しめていたか:とてもそう思う2人(17%)そう思う3人(25%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)該当しない7人(58%)	
3) 分離保育は安心して預けることができたか:とてもそう思う4人(33%)そう思う2人(17%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)該当しない6人(50%)	
(3)個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う3人(25%)そう思う9人(75%)どちらともいえない0人(0%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない0人(0%)	
(4)保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う2人(17%)そう思う7人(59%)どちらともいえない1人(8%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない1人(8%)わからない1人(8%)	
ウ たけのこルーム(児童発達支援事業)	
前期配布数70、回答数62 回答率88.6%	
(1)職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う27人(44%)そう思う30人(48%)どちらともいえない3人(4%)あまりそう思わない1人(2%)そう思わない1人(2%)わからない0人(0%)	
(2)療育内容は適切でしたか:とてもそう思う18人(29%)そう思う39人(63%)どちらともいえない3人(5%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない2人(3%)	
(3)個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う20人(32%)そう思う37人(60%)どちらともいえない1人(2%)あまりそう思わない1人(2%)そう思わない0人(0%)わからない3人(4%)	
(4)保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う16人(26%)そう思う34人(55%)どちらともいえない6人(9%)あまりそう思わない1人(2%)そう思わない0人(0%)わからない5人(8%)	
後期配布数79、回答数63 回答率79.7%	
(1)職員の配置数や専門性は適切でしたか:とてもそう思う32人(51%)そう思う21人(33%)どちらともいえない5人(8%)あまりそう思わない3人(5%)そう思わない0人(0%)わからない2人(3%)	
(2)療育内容は適切でしたか:とてもそう思う25人(40%)そう思う30人(48%)どちらともいえない3人(4%)あまりそう思わない1人(2%)そう思わない0人(0%)わからない4人(6%)	
(3)個別支援計画に沿った支援が行われていたか:とてもそう思う23人(37%)そう思う32人(51%)どちらともいえない5人(8%)あまりそう思わない0人(0%)そう思わない0人(0%)わからない3人(4%)	
(4)保護者等に対して家族支援プログラムが行われていたか:とてもそう思う16人(25%)そう思う30人(48%)どちらともいえない11人(17%)あまりそう思わない3人(5%)そう思わない0人(0%)わからない3人(5%)	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
非常食は、おかゆではなく白米かパンにしてほしい。ひまわりルームのこども達が余り好まないおかゆを備蓄している、いざという時に食べないと思う。	災害時、水が不足する時でも食べられるように、レトルトおかゆを備蓄しているが、白米やパンについても備蓄することにした。
たけのこルーム児童発達支援事業のグループに参加している。避難訓練を行っていることは知っているが、避難訓練の日程に当たったことがないため若干の不安を感じる。	改めて館内に掲示してある避難経路図を案内し、避難経路を確認して安心してもらうとともに、各グループで避難訓練が行えるよう日程を設けた。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	施設全般 ・事業計画に沿って概ね計画どおり運営できた。 ・施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、利用児が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持した。 ひまわりルーム ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、残念ながら他集団への移行を希望する保護者向けの勉強会や公立保育所や幼稚園との交流保育を行うことが出来なかったが、移行支援として千葉市幼稚園協会・千葉市子ども未来局幼保運営課に資料を依頼して希望保護者に配布し説明を行い、移行を希望されている保護者への情報提供や個別相談に努めた結果、1名が幼稚園に移行した。 ・医療的ケアを必要とする知的障害児の受け入れについては、秋に各区の保健福祉センター、3区の基幹相談支援センターを訪問し、医療的ケア児の受け入れ態勢や流れなどについての説明を行い周知に努めた。 ・医療的ケア児の受け入れについては、令和3年3月に「医療的ケア児受け入れガイドライン」を整備し受け入れ体制を整えた。 たけのこルーム ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、療育内容や行事日程などの一部変更や縮小をせざるを得なかったが、さまざまな感染予防対策を徹底したうえで、日々の療育を安心・安全に行った。 ・医療的児童発達支援センターにおいては、各種行事についても保護者の要望を受けて可能な限り中止にせず、療育の中に行事の要素を取り入れ、開催日を分散したり規模を縮小するなどの工夫をして保育プログラムの充実に努めた。 - また、年長・年中児の保護者を対象とした卒園児保護者による就学に向けての講演会の開催や、育児のお悩みについても個別での相談に応じ、保育所を訪問して児童とのかかわり方などの情報交換と連携を図るなど、保護者の自宅での育児の悩みが軽減できるよう積極的な保護者支援に努めた。 - 医療的ケアが必要な児童に対しては、摂食が難しい児童の保護者の悩みが軽減できるよう専門職による摂食指導を行った。 - しかしながら、一日の平均利用人数は2.5人(前年度比49%減)と減少した。 ・児童発達支援事業においては、利用児が通っている保育所・幼稚園などに職員が出向き、児への関わり方や支援の方法について情報の共有化を図るなど、連携強化に努めた。また、定期的に個別相談を実施し、保護者支援に努めた。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	・利用者や職員等の健康管理、備品の消毒等、感染症対策によるリスク管理のもと、事業計画に基づく管理運営を行っていた。 ・通園児兄弟・姉妹預かり事業において、書面上や口頭での保護者への周知を積極的に行い、療育環境の整備に努めた。 ・行事を中止するだけではなく、開催日の分散や規模を小さくするなど可能な限り実施に向けた工夫を行い利用者が楽しめるよう支援を徹底していた。 ・ひまわりルームにおいて、移行支援によって1名を幼稚園へつなげた。 - また、各区の保健福祉センター、3区の基幹相談支援センターで、医療的ケア児の受け入れ態勢や流れなどを周知することに努めた。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、利用者や職員の健康管理、備品の消毒、感染対策に対するリスク管理の下、事業計画に基づく事業管理運営を行っていたということが認められるため、引き続き、利用者の信頼に応えられるような運営をお願いしたい。